広報まき

1974年3月27日
第192号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表(2)3131
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和49年2月28日現在）
総人口　27,556人
男　13,415人　女　14,141人
世帯数　6,392

三月定例議会

49年度予算など決める

各種証明の額を改正

三月定例町議会は、三月八日から二十日までの十一日間、役場議場で開かれました。
定例会には、四十八年度一般会計および特別会計補正予算、四十九年度各会計予算を含め議案三十三件、議員提出議案一件、請願五件、陳情二件が提出され、慎重な審議がつくされました。ここで可決、採択された主な議案を紹介します。

印鑑証明、住民票は70円

□税条例の一部改正
四月一日から五十円の納税証明書が七十円になります。

□証明等手数料条例の一部改正
四月一日から一件五十円の証明（印鑑証明書）が七十円に。土地に関する証明は五筆まで七十円、それ以上五筆ますごとに七十円で最高三百五十円に。住民票抄本などは五十円が七十円に、住民票全部の写しは百円が百四十円に。公簿・公文書の閲覧と照合は一件につき五十円が七十円になります。

□国民健康保険条例の一部改正
四月一日から一万円の助産費が二万円に、三千円の育児手当が五千円に、五千円の葬祭費が八千円に引き上げられました。

□病院事業使用料および手数料条例の一部改正
四月一日から入院室使用料が改正され、一日千二百円の特別室が千五百円に、一日六百円の一等室が八百円に、一日四百円の二等室が五百円になります。

□巻町立郷土資料館条例
町民の学術・文化の発展に寄与するため、大字巻甲七六三番地の一（旧財務事務所）に郷土資料館を設置し、管理は巻町・潟東村教育委員会が行ないます。

□西蒲・燕視聴覚教育協議会の設置について
視聴覚教育に関する事務を共同管理し執行するため燕市と郡内十一町村で、同協議会を四月一日から設置し、事務局は大字巻甲四二六二番地の一（旧土木事務所敷地内）におきます。

□妊産婦及び乳児の医療費助成に関する条例の一部改正
今までは所得税額の制限がありましたが、四月一日から妊産婦・乳児の医療費は全員無料になります。

□老人及び重度心身障害者医療費助成に関する条例
今まであった所得制限が無くなり、四月一日から老人と重度心障者の医療費が全員無料になります。

□教育委員会委員の任命
渡辺秀穂さん（三区）が再任されました。

49年度一般会計予算　総額は15億7千万円

前年度比17％の伸び

昭和四十九年度一般会計歳入歳出予算総額は十五億七千三百万円で、前年度当初予算に比較して二億三千六百四十万円（一七・七％）増加しました。

前年度当初予算にくらべ人件費は四億二千五百九十二万円で七千八百六十八万円（二二・七％）の増、その他消費的経費は五億九千二百四十四万円で二七・九％の増、投資的経費（事業費）は四億七千五百八十二万円で五百二十二万円の増となりました。

ここで、四十九年度一般会計歳入歳出予算の主な内容を紹介します。

請願・陳情

採択された請願・陳情は次のとおりです。
☆大字馬場字中組・字西下組・字下組地内の町道改修に関する請願☆大字松野尾字脇折目地内畑地の排水について請願☆「原爆被爆者援護法」制定のための政府、国会への意見提出についての請願☆排下水路の整備、湯田道の整備拡幅、子どもの遊び場（児童公園）についての請願☆道路舗装（三区西川左岸）の請願
☆巻中学校体育施設充実について陳情☆角田浜海岸の浸蝕による補修工事早期施行についての陳情☆角田山の砕石事業継続について陳情

校長先生から卒業証書を受ける卒業生

現代っ子も涙　一せいに中学校卒業式

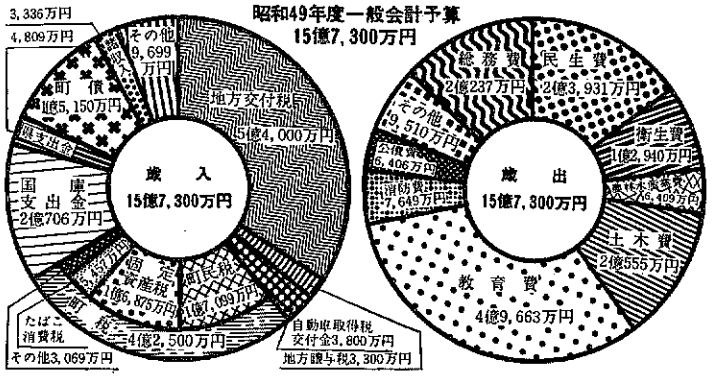
三月十五日、町内一せいに中学校卒業式が行なわれ、男子二百五十八人、女子二百二十二人の合計四百八十人が社会に巣立ちました。

ここ補浜中学校でも、小学校と一緒に卒業式が行なわれ、九人の仲間がそれぞれの道に第一歩を踏み出しました。最後の校歌には、さしもの現代っ子も涙を流して、楽しかった中学校生活に別れをつげていました

歳入

交付税は五億四千万円

☆町税　市町村民税一億七千九十九万円、固定資産税一億六千八百七十五万円、軽自動車税八百二万円、たばこ消費税五千四百五十七万円、電気ガス税二千二百五十八万円
☆地方交付税　普通地方交付税五億四千万円
☆分担金・負担金　公私立保育園の保育料一千五百九十五万円
☆使用料・手数料　老人いこいの家や公営住宅等の使用料二百四万円、戸籍等手数料四百十四万円
☆国庫支出金　老人医療費として国から三千三百五十七万円、保育園措置費として国から四千二十二万円、児童手当の国負担金千八百七十五万円、都市下水路事業補助金九百六十万円、学校建築補助金八千八百四十八万円、ブール建設補助金三百万円
☆県支出金　老人医療費として八百三十九万円、保育園措置費として五百二万円、児童手当三百二十七万円、妊産婦・乳児医療費の四百三十二万円、国土調査補助金二百八十万円
☆財産収入　土地建て物売り払い収入二千万円
☆諸収入　労働金庫預託金・産業育成資金預託金・季節旅館改善育成資金預託金



歳出

冗費を極力節約

☆議会費　議員報酬千七百九十五万円
☆総務費　区長報酬三百七十七万円、町長交際費二百五十万円、町有建物災害共済保険料四百五十三万円、交通公害対策費五百九十四万円、消費者行政費五十二万円、蔵室拡張、越前浜保育園火災報知器取り付け工事、三百二十三万円。
☆民生費　漆山保育園遊
☆衛生費　清掃車購入費三百六十万円。
☆農林水産業費　米生産調整特別対策事業補助金四百五十三万円、農道・林道補修用砕石六百三十八万円、並型漁しょう設置・車えび放流事業二百六十万円。
☆商工費　角田山登山道改修・展望案内板設置三十万円
☆民生費　町社会福祉協議会補助金四百八十七万円、老人クラブ補助金百五十九万円、老人医療費五千五百三十九万円、得票荘運営委託料四百二十三万円、地域保育所運営費補助金三百十一万円、児童手当費二千五百三十一万円
☆衛生費　巻町外三か町村衛生組合負担金四千二百四十四万円、巻町・岩室村葬祭施設組合負担金五百十二万円、妊産婦・乳児医療費八百三十五万円、病院会計繰出金千四百二十万円
☆農林水産業費　農業委員会費五百三十四万円、農業振興協議会負担金二百二万円、球根品評会など園芸振興費百十五万円、隊共進会など畜産振興費百五十万円、林業振興費百八十六万円、水産業振興費二百七十万円
☆商工費　町商工会補助金四百万円、産業育成資金預託金・中小企業経営安定資金預託金千五百万円、季節旅館改善育成資金預託金百六十万円
☆土木費　都市計画費四百五十万円
☆消防費　消防団員報酬三百八十六万円、巻・潟東消防事務組合負担金五千三百三十万円、可搬動力ポンプ・消火栓器具等購入費百四十万円
☆教育費　巻町・潟東村教育委員会負担金二千五百八十八万円、奨学資金貸付金二百三十一万円、小学校児童用机・イス・一般校具等購入費八百十五万円、郷土資料館費二百十二万円、給食センター費八百七十九万円
☆公債費　長期債元利償還金ほか六千四百六万円

投資的経費の内訳

投資的経費に四億七千五百八十二万円を計上しましたが、主な事業と予算額は次のとおりです。

☆土木費　町道補修用砕石一千万円、町道舗装工事六千七百三十万円、町道側溝護岸工事一千三百二十七万円、用地買収費三百三十六万円、国県道舗装事業負担金七百二万円、漆山北側水路改修等水路新設改良費一千三十五万円、都市下水路整備事業二千八百一万円
☆消防費　貯水槽八基新設三百九十四万円。
☆教育費　学校建築事業二億六千八百七十二万円、プール建設事業二千七百万円、巻中学校体育館床張り替えなど校舎補修等工事七百七十九万円、給食運搬車購入費百二十四万円。

高校通り大型車規制

高校通りは大型貨物自動車を交通止めにしました。したがって大型貨物自動車のみ国道一六号線、県道新潟・寺泊線、本町通りから高校通りへは入れません。

山開きの案内

四月七日午前十一時から角田頂で山開きが行なわれます。

作業停電　4月3日柿島，漆山の全部と並岡，馬場の一部。12日仁箇，布目，稲島，伏部，松山，松野尾，大原の全部と竹野町の一部。時間はいずれも午前9時から午後3時30分まで。

教育福祉不建設を柱

49年度町長施政方針（要旨）

三月八日から開かれた三月定例町議会の冒頭、江端町長は新年度の施政方針として八項目にわたる重点施策をとりあげ、これからの町政にのぞむ所信を明らかにしました。重点施策は、さきに策定された町総合計画基本構想を指針としながら、①教育施設の整備②生活に直結する社会資本の整備③社会福祉の充実と社会による事業の推進④保健衛生事業の推進と一屎処理場の建設⑤農林水産業の振興⑥交通安全・公害対策と公営駐車場の整備⑦中小企業対策、工場団地の造成分譲と消費者行政の推進⑧緑化事業の推進、の八項目です。

ここで施政方針の要旨を紹介します。

教育

巻北小建築に全力

別位置開校は50年度

はじめに巻小学校の分離による巻北小学校の建築について申し上げます。

建築については、現在着工中の高学年普通教室棟（三階建て十八教室）は、本年七月完成の予定であります。続いて低学年普通教室棟（二階建て八教室、プレールーム）と管理棟（三階建て）を昭和四十九年度中に完成し、昭和五十年四月一日をもって巻北小学校が正式に別位置開校となるわけであります。

しかしながら屋内運動場特別教室、グラウンド等の整備は明年度以降に持ち越さなければならず、将来委細の考慮を払いたいと存じます。

なお、巻町学校施設整備審議会の答申にもとづきまして、続いて南校（板柿）の校舎建築に取りかかることになりますが、この時点になりますと当然中学校の校舎建築とも関連してまいりますので、本年は勿論ここ当分は校舎建築が町財政の最大課題となるわけであります。学校整備の完成までには幾多の困難に逢着することが予想されますが、なにとぞ関係各位の絶大なご支援とご協力をお願い申し上げます。

町営プールを建設

当町におきましてもスポーツ熱がますます高まりつつあります。この中で水泳に対する関心は特に強く、これが要望を満たすためのプール建設は緊要時と考え困難な子算の中にあって、一世紀近い歴史をもつ明治建築であり、今日の郡都巻町を象徴しめた記念碑的存在でもあります。かような観点から、本建築の主要部分を保存し且つこれまで町民各位のご協力によって収集してまいりました民具古文書、考古品等の数かず管するとともに、公開活用し町内外の多くの方がたから親しんでいただきたいと考えております。

旧郡役所跡に郷土資料館を設置

社会教育施設として、旧郡役所跡に「巻町立郷土資料館」を設置することにいたしました。

完成時には、平地で約八十五台収容する規模となりますが、更に将来の課題として立体駐車場の建設も検討したいと存じます。

その他、減少しない幼児の交通事故を無くするために、保育園等を単位に幼児交通安全クラブを結成し、親と子が一緒になって交通マナーを身につけさせるべく、関係機関の協力を得て積極的な活動援助指導を行なうつもりであります。

騒音規制地域を指定

駐車場は49年度完成

点施策として、市街地における路上駐車の一掃をはかるべく、用地買収を進めてまいりました公営駐車場につきましては、農地事務所跡の富原土地改良区の移転時期をとらえ、本年度中に設置するつもりであります。

交通公害

第六に交通安全ならびに公害対策について申しあげます。

かねて交通安全対策の重点施策として、市街地における路上駐車の一掃をはかるべく、用地買収を進めてまいりました公営駐車場につきましては、農地事務所跡のしかしながら、いまだ町全般の幹線道路網の整備は十分とはいい得ません。

加えて大型グンプの資材運搬通過が増加の一途をたどる現況よりして、更に御巡見道の舗装、消防署前から一一六号線に至る延長線立体交差の採択、漆山バイパスの促進、へき地開発として浦浜線のバイパス促進等、強く県に要望したいと思うのであります。

町道五千メートルを舗装

一方町道の整備につきましては、前年に引き続き広大型車の一方通行が一応可能となりつつあります。

しかしながら、いまだ町全般の幹線道路網の整備は十分とはいい得ません。

加えて大型グンプの資材運搬通過が増加の一途をたどる現況よりして、更に御巡見道の舗装、消防署前から一一六号線に至る延長線立体交差の採択、漆山バイパスの促進、へき地開発として浦浜線のバイパス促進等、強く県に要望したいと思うのであります。

町道五千メートルを舗装

一方町道の整備につきましては、前年に引き続き広く全地域の主要路線を取り上げ、他事業と関連して予算の配分を大幅に見たつもりであります。

その結果、町道新設改良として八か所、舗装延長二千九十九メートルを計画した次第であります。

その他現在計画中のものとして、部落間を結ぶ幹線道路の整備、農道整備非補助融資事業として申請中であり、また昨年新規公共事業として採択された越前浜峠線につきましては、本年度の国の予算配分の決定を見たうえ、必要な財源措置を講ずるつもりであります。

市街地内都市下水路は完工

次に水路について申し上げますと、巻地区における市街地内の都市下水路は、昭和四十四年度から五年を経過し、漸く完成のはこびとなり、その効果は顕著に現われていることはご承知のとおりであります。

本年度は、いよいよ国道一一六号線より下流巻地区排水路に取りかかる訳であります。

また、農地用排水路の関連もあって延長約二百メートルにとどめ、その他県の自治振興債を得て行なう単独事業につきましては、割前負水路の事業を計画したのであります。

昨今の経済情勢に対処し町としてもこれを大きく取り上げ、あらたに総務管理費の中で消費者、販売業者、関係機関等すべてを対象に、積極的に消費者行政の推進につとめたいと存じます。

消費者行政

積極的に行政を推進

巻町におきましては、婦人会が中心となり昭和四十四年三月に消費者協会巻支部を結成し、会員百五十名をかぞえ、県下でも比較的に活発な活動が展開されている町として注目されているのであります。

保健衛生

し尿処理場を建設

第四は保健衛生事業の推進と、し尿処理場の建設であります。地域住民の健康管理の立場から年次計画で設定いたしております。

公衆衛生推進地区を本年度をもって全町に亘る七十四地区に拡大し、町民の成人病予防、母子衛生、環境衛生等、公衆衛生全般の向上実践につとめるとともに母子保健として妊産婦、乳児の医療無料化と所得制限の撤廃をすることにいたしました。

し尿処理場の建設については、国の第二次施設整備計画にもとづき、既に狭あいとなりつつある既設（一）施設に加え、更に四十九、五十年の二か年継続事業として二、三十六キロリットル処理施設を増設し、目標年次には一〇〇パーセント処理を計画いたしました。

土木建設

浦浜バイパス促進に努力

幹線道路網の整備

近年国県道の整備は促進され、巻町におきましてもあい路となっておりました巻・浦浜線（堀山、四ツ谷通り）につきましては、横山バイパスの開通により、その一部が改良されました。

また、巻町におきましても点施策として、市街地における路上駐車の一掃をはかるべく、用地買収を進めてまいりました公営駐車場につきましては、農地事務所跡のしかしながら、いまだ町全般の幹線道路網の整備は十分とはいい得ません。

加えて大型グンプの資材運搬通過が増加の一途をたどる現況よりして、更に御巡見道の舗装、消防署前から一一六号線に至る延長線立体交差の採択、漆山バイパスの促進、へき地開発として浦浜線のバイパス促進等、強く県に要望したいと思うのであります。

町道五千メートルを舗装

一方町道の整備につきましては、前年に引き続き広

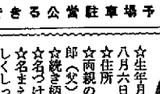
町立郷土資料館に変身する旧郡役所跡

85台収容できる公営駐車場予定地

公害対策

公害対策としては、本年度新たに騒音規制法の事務を付与され、特定工場、事業所および建設作業、自動車より発生する騒音を規制するため地域を指定し、住民の生活環境の保全につとめるつもりであります。

赤ちゃん場



☆生年月日　四十七年八月六日
☆住所　仁義
☆両親の名まえ　太四郎（父）芳（母）
☆続き柄　長男
☆名まえの由来　男らしくしっかりした人間になるように
☆愛称　タカチャン
☆好物　めん類、くだもの

岸本隆浩

☆生年月日　四十八年二月十九日
☆住所　三区
☆両親の名まえ（父）和子（母）
☆続き柄　長女
☆名まえの由来　かわいい名前だったので
☆愛称　さおり
☆好物　めん類、ミカン

丸山さおり

総合的施策を強力に展開

農業振興の基本構想策定

農林水産業

巻町の農業は今後予測される世界的な食糧危機の中で、主要食糧の生産基地としてふさわしい肥沃な本田や、新潟市を中心とする都市近郊を蔬供給地としての広大な砂丘地、そして変化に富み将来に夢が正せる角田山ろく果樹地帯、その立地条件は他に比して優位にあると思うのであります。

農協と手をたずさえ

幸いにしまして、大同合併をして二年を経過した巻町農協が、いよいよ真価を発揮し、組合員の営農指導に資材の供給あつ減に、金融に、あるいは生産物の集荷販売に、組れる農協として活発な活動を行なっていることは力強い極みであります。

私は農協の活動を積極的に支援し、手をたずさえて農業振興諸施策の推進をはかる所存であります。

秋冬大根が国の産地指定に

まず農業につきましては四十八年度に決定される農振法にもとづく農業振興地域を対象に、振興対策の基本構想を策定したいと存じます。

次に角田山ろくパイロット事業も、いよいよ四十九年度をもって完成するので今後は営農対策代化計画を策定し、その推進をはかりたいと思います。

砂丘地につきましては、このたび秋冬大根が国の指定産地に決定されました機会に、営農近代化対策および生産基盤整備事業の計画策定と事業の推進をはかる予定であります。

次に角田山ろくの農業の企業化と大規模化が必要であります。

巻町農業の基幹であります米作についての課題は、労働力と生産費にあるかとはかり高能率による生産費の軽減、をもたらすためには、農業の企業化と大規模化が絶対必要と考えられます。西浦原土地改良区を中心に、旦下進められつつあります本部における大規模営農団地造成の先駆として、農業の企業化と大規模化、その協力否主体となって、いただき実施するわけであります。また、中小企業の信用補完によって金融機関からの運転資金（つなぎ資金）と、中小企業経営者、建設業にまでおよんでいることは、由ゆしき問題であります。

当面これら小規模企業者の経営安定をはかるため、巻町農協の建設業部門を通じて巻町農協の「中小企業経営安定資金貸付制度」を創設することにいたしたのであります。

また、中小企業の信用補完によって金融機関からの推進と相俟ってこの理想実現のために、こん身の努力を傾けたいと思うものであります。種作転換により定着化しつつあるハウス、レンコン、いちご等については生産組織の強化育成をはかることが緊要と考えます。

これらの農業諸施策は、いずれも農協と連けいを密にし、その協力否主体となって、いただき実施するわけであります。

農協の育成強化は重要な課題であります。今後流通諸勢の整備等を合わて指導助成につとめる所存であります。

林道整備に重点

次に林業振興につきましては、林道整備に重点をおいておりますがこのほか造林事業と「みがき丸太」の生産を強く指導してまいる予定であります。

次に水産振興につきましては、昨年刺網並型漁礁の設置と車えびの放流を中心に、沿岸漁業不振にてこ入れを行なう予定であります。

金属工場団地は本年度完成

次に金属工場団地につきましては、かねてから工事の進捗を目的とし、六間口川埋め立て地を緑化し、道路公園、児童遊園として年次計画のもとに整備したいと思うのであります。

以下基想の概要を申し述べますと、次のとおりであります。

既に埋立免許により取得いたしました六間口川は、延長約六百メートル、このうち町道竹野町線より南側につきましては長さ百メートル、六コースの直線コースの狭あいに悩むグラウンドの狭あいに悩む巻小学校および建設中の巻北小学校の分離後グラウンド設工までの間、大いに活用されるものと思います。

北側につきましては、通称「荒井橋」に対する建設費の助成は三年目に当たり、本年度より元利償還となりますので、前年比は大幅に増額となりました。

保育所助成を増額

児童福祉関係としては、地域保育所に対する助成措置を更に増額したのでありますが、前年度同地域保育所職員の給与面の改善ときましては、関係者の努力を望んでやみません。

児童手当についてでありますが、この手当が、本年度より義務教育前まで拡大され、また十月以降増額されることによって、大幅に増額計上したものであります。

農業の企業化と大規模化が必要

町独自の制度で融資

中小企業に経営安定資金

商工業

昨今の高物価、資材の高騰、需給のひっ迫という異常な経済情勢のなかで、そのもとに、法人として発足を見ました巻町社会福祉協議会による諸施策の実施であります。即ち町の財政拠出と地域住民の善意を結集し、法人の事業主体のもとに巻地区において「まどいの家」の運営、寄付場内等の児童遊具の整備を手はじめに実施する予定であります。

老人福祉に大幅予算

老人福祉関係として、老人医療助成に際しての所得制限撤廃

社会福祉

町社協を軸にして

老人医療の所得制限撤廃

私は昨今の異状な経済変動により、社会福祉の分野を強化するための諸施策を、より積極的に推進してまいる所存であります。

推進方法の第一として、昨年住民総参加の呼びかけまして、法人の運営に参画しまして、まず、新潟市を中心とする都市近郊を蔬供給地としての広大な砂丘地、そして変化に富み将来に夢が正せる角田山ろく果樹地帯、その立地条件は他に比して優位にあると思うのであります。

農協と手をたずさえ

幸いにしまして、大同合併をして二年を経過した巻町農協が、いよいよ真価を発揮し、組合員の営農指導に資材の供給あつ減に、金融に、あるいは生産物の集荷販売に、組れる農協として活発な活動を行なっていることは力強い極みであります。

私は農協の活動を積極的に支援し、手をたずさえて農業振興諸施策の推進をはかる所存であります。

秋冬大根が国の産地指定に

まず農業につきましては四十八年度に決定される農振法にもとづく農業振興地域を対象に、振興対策の基本構想を策定したいと存じます。

次に角田山ろくパイロット事業も、いよいよ四十九年度をもって完成するので今後は営農対策代化計画を策定し、その推進をはかりたいと思います。

砂丘地につきましては、このたび秋冬大根が国の指定産地に決定されました機会に、営農近代化対策および生産基盤整備事業の計画策定と事業の推進をはかる予定であります。

次に角田山ろくの農業の企業化と大規模化が必要であります。

巻町農業の基幹であります米作についての課題は、労働力と生産費にあるかとはかり高能率による生産費の軽減、をもたらすためには、農業の企業化と大規模化が絶対必要と考えられます。西浦原土地改良区を中心に、旦下進められつつあります本部における大規模営農団地造成の先駆として、農業の企業化と大規模化

子どもの事故防止重点

4月6日から交通安全運動

四月六日（土）から十五日（月）までの十日間、春の全国交通安全運動が行なわれます。

今年は①歩行者事故、特に子どもの事故防止②自動車の事故防止、を運動の重点に取りあげ交通事故防止の徹底を図ることになりました。

また、町でも関係機関、団体の協力を得ながら①違法駐車の取り締まりや道路の不法占用物件の排除②幼児交通安全クラブ（トキちゃんクラブ）を通じて、親子ぐるみの交通安全教育を行なう③街頭指導や安全パトロールを行なう④自転車の安全な乗り方を指導するなどを行ないながら交通事故の撲滅に全力をあげます。

歩行者、ドライバー、運転管理者など町民一丸となって、春の交通安全運動をすすめ老人と子どもを交通事故から守ってください。

交通安全指導もさかんだ

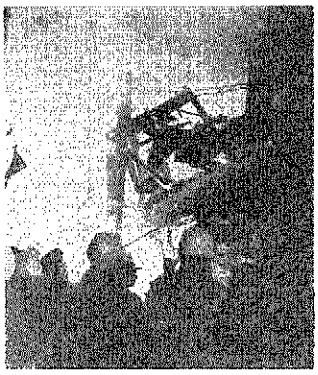
山火事の季節です

一日から火災予防運動

四月一日から七日まで、県下一せいに春の火災予防運動が行なわれます。

最近、県内では死傷者の伴う火災が発生していますが、これからは一年中で最も出火の多い時期となります。家庭内では①避難口を決める②病人や子どもは避難しやすい所に寝せる③寝タバコはしない④外出や寝る前の火の元確認、家庭外では山や野原でタバコ、マッチを捨てすてない、などに注意し、一人一人が火の用心に心がけ、あの恐しい災害から生命や財産を守りましょう。

また、多ぜいの人が出入りする建て物の責任者は、行楽シーズンをむかえ消防用設備の点検や、避難誘導について従業員等に周知徹底してください。



チョットの油断が大火につながる

主任配管工の講習会

四十九年度主任配管工の講習会および資格認定試験が、次により行なわれます。

☆講習会　五月二十一日　新潟市で行なわれ、受講料千五百円。

☆認定試験　六月一日～二日まで新潟市で行なわれ受験料四千円。

申し込みは、いずれも四月二十日までに水道課へ申し込んでください。

中小企業に運転資金

一企業80万円で年利8％

町では、町内各金融機関の協力を得て、町独自の「巻町中小企業経営安定資金貸付制度」をつくり、四月一日から融資をはじめます。

これは、金融の引き締めや商品資材の高騰など、最近の経済事情をふまえ、町内中小企業者の経営安定をはかるため、運転資金（つなぎ資金）としてつくった制度です。

概要は次のとおりですので、どうぞご利用ください。

☆貸付け対象者　町内中小企業者☆貸付け限度額　一企業八十万円で運転資金とする☆貸付け期間　一年以内☆貸付け利率　年八パーセント☆償還方法　元金均等月賦償還を原則とする

ただし短期（四か月以内）については一括償還もできます☆融資可否　原則として申し込み後五日以内に決定されます☆担保・保証人　各取扱金融機関で決めます☆取り扱い金融機関　第四銀行、北越銀行、新潟相互銀行、大光相互銀行の各巻支店、巻信用組合☆受け付け　役場商工観光課で受け付けます。

くわしいことは商工観光課に問い合わせを。

妊産婦・乳児の医療費が全員無料になります

四十八年度から行なわれてきた、妊産婦および乳児の医療費助成事業の内容が四十九年度から所得制限がなくなり、全部の妊産婦と乳児に適用されます。

つきましては、所得により対象外となっていた妊産婦および乳児は、保険証普通預金通帳、印鑑を持って、三月中に保険衛生課（分室）に申請手続きをしてください。

また、四月から全部の妊産婦が対象になりますので医療費助成資格証を、妊娠届けの際に発行することになります。四月から妊娠届けをされる方は、医療費助成資格証発行に必要な妊婦ののっている保険証、赤ちゃんの入る予定の保険証、普通預金通帳、印鑑を保険衛生課までご持参を。

老人医療の所得制限撤廃

該当者は申し出を

四月一日から、老人医療費等助成事業の一部改正により、所得制限を撤廃しあわせて制度非該当者（国の制度）を、新たに県単独事業の対象者として認定することになりました。

次の方は、印鑑と保険証を持って厚生課へ手続きをしてください。

(一)四十九年三月三十一日現在で年齢七十歳を満たしている人で、本人所得また

は扶養義務者等の所得が限度額（本人四十三万円以上扶養義務者等四十六万円以上）を超えたため非該当となった者。

(二)四十八年十月一日から四十九年三月三十一日現在の期間で障害老人と認定され、本人所得または扶養義務者等の所得が限度額（一）と同じ）を超えたため、非該当となった者。

乳児検診

四月八日午後一時三十分から二時三十分まで、役場分室で乳児検診を行ないます。全町が対象で四十八年九月生まれの乳児が受診してください。

犬の登録と注射

四十九年度の犬の登録と第一回狂犬病予防注射を実施しますので、あなたの愛犬も近くの会場で必ずすませてください。

犬の登録は年一回、注射は春と秋の二回受けることになっています。

また、放し飼いは禁止されていますので、必ずつないで人の迷惑にかからないようにしましょう。

犬の登録と注射の日程

（当日は料金と印鑑持参）

月日	会場	時間	料金
4月8日	農協峰岡支所	11:00～12:00	登録手数料 300円
	入徳館保育園	13:00～14:00	注射料 340円
9日	越前小学校	10:00～11:00	注射済証 60円
	農協松野尾支所	12:30～14:00	合計 700円
10日	役場	10:00～14:00	
	農協西ツ郷屋支所	10:30～11:30	
	漆山駐在室	13:00～14:00	

当日は料金と印鑑を持ってきてください。

農業の道しるべ

畜産危機が教えるもの

西村欣策

「豚肉は、生産費の三分の二の価格だ…」

「乳牛を飼う農家は、一年に百八十万円もの赤字だ……」

「肥育牛農家は、一頭何万円かの赤字を背負わねばならない」

という畜産農家の叫びは、周囲がよく理解してやらなければいけないと思う。

毎日、毎日「えさ」を与え、管理をしなければならない。その生きものが対象であるだけに、身につまされるのである。

飼料代が高くなっても、「えさ」を与えないわけにはいかない。毎日、毎日努力をして損をしている。

まして大規模化した経営の中では、農家の不安はたまらないのである。

「農業も企業だ」、「専門化だ」といわれて、莫大な借金をして飼った家畜で、一日、一日赤字が積もる。

世の中に絶望する農村人の姿に同情しないとするなら、世の中は「やみ」であるとしか言えない。

農産物がはじめて作られた時代、「余ったものは他人にくれる時代」が長く続いた。

いまも単作地帯の中には、米以外の農産物で金をとるのは罪悪のように考えているものもいる。

この素朴な原始的情緒社会が、近代的に衣替えされた時、農産物の生産価格は人がきめた。

「お礼」の意味で他人が代償を払った「感謝」のやりとりの時代が、きびしい経済社会の中に人間たちは、この前時代的遺産をトコトン利用して農業者をしぼるのである。

それは、果樹でも、野菜でも、そして米だって近代社会の経済機構のらち外におかれている。

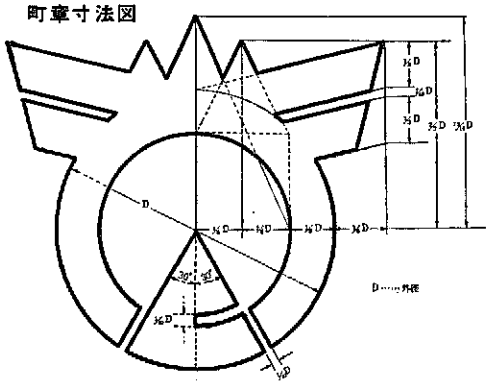
そのむかし、勇敢で、知恵と努力の人が作り出した農産物や水産物によって、生きることを与えられた人たちが、何という図々しい人間に化け、変身してしまったことか。

農産物の生産価格は、どうしても近代的「システム」に編成替えされねばならない。

町章の規格訂正

広報第百九十一号に掲載しました「町章も規格化を図る」の記事中、町章の寸法図に誤りがありましたので、正しい町章の寸法を右図のように訂正します。

町章寸法図



歯の病気の予防と管理

子どもの歯を守る会

県歯科医師会理事　白石敏彦

近年児童福祉がさけばれ、着々とその成果があげられていますが残念ながら虫歯の問題は児童の最も基本的な健康問題にもかかわらず、取り残され今や大きな社会問題となっております。

虫歯がほとんど全部の子どもに慢延し、しかもその発生がますます増大している現状を考えると、今までのように治療を中心とした対策だけでは、解決の見通しが立たないことは明らかです。

また、個人にまかされた甘味食品の制限や歯口清掃など、歯科衛生に対する努力のみでは虫歯の問題は解決できそうもありません。

文明病から国民病へと重症化してしまった虫歯の対策は、もはや個人の段階を越え、公衆衛生レベルでの問題と考えるべきであると思います。

このたび公衆衛生対策として最もすぐれた手段とされている上水道フッ素添加を中心とする、具体的な虫歯予防対策を推進する目的で、県歯科医師会と新潟大学歯学部を中心として子どもの歯を守る会が結成され、その活躍が期待されます。